



横浜市立豊岡小学校

学校だより

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/toyooka/>

TEL:045-581-3248

学校教育目標：【学び合い 高め合い まちとともに明日を拓く豊岡っ子】

令和8年 5月29日

6月号

「本物に触れて育つ学び」

校長 柳澤 尚利

新年度がスタートしてから二か月が過ぎ、初夏の香りが漂う頃となりました。毎朝、正門で子どもたちを迎えていると、日に日に夏の気配が感じられるようになってきました。その気配は、子どもたちが一生懸命に植物を育てる姿からも伝わってきます。

2年生は、ミニトマトやなす、きゅうり、オクラ、ピーマンなどの夏野菜を育てています。「おうちの人に喜んでもらいたい」「みんなで料理して食べたいな」「給食で学校みんなに食べてもらえたらいいな」など、一人ひとりが思いや願いをもちながら、毎日心を込めて水やりをしています。

「校長先生、実がたくさんりました」「こんなに背が伸びました」と、嬉しそうに話しかけてくれる子どもたちの表情からは、小さな命を大切に育てる喜びが伝わってきます。

1年生は6種類の花から一つを選び、大切に育てています。また、3年生はハウセンカを栽培しています。朝や休み時間になると、進んで水やりをする子どもたちの姿が多く見られます。植物の成長を心待ちにしながら関わる日々は、子どもたちの豊かな感性を育てています。

さて、6年生は先日、日光修学旅行を終え、大きく成長して帰ってきました。なかでも印象的だったのは、世界遺産である日光東照宮を見学した場面です。事前に学習を重ねて臨んだ子どもたちでしたが、実際に陽明門を前にすると、その精緻な彫刻や圧倒的な存在感に思わず足を止め、真剣なまなざしで見入っていました。

ある子どもが、「写真で見るより、ずっとすごい。ずっと見ていたい。」とつぶやいた言葉が、今も心に残っています。まさに、本物に触れた瞬間だったのだと思います。

また、戦場ヶ原でのハイキングでは、雄大な自然の中で風や空気、景色を全身で感じながら活動していました。普段の生活では味わうことのできない体験を通して、多くの子どもたちが自然への畏敬の念を抱いたことと思います。さらに班別行動では、仲間と相談しながら行動し、時間や約束を守ろうとする姿が随所に見られました。互いに声をかけ合い、助け合う姿には、最高学年としての自覚と責任が表れていました。



私は、教育において「直接体験」は、子どもたちの心を動かし、学びを本物にする大切な機会であると考えています。知識を得ることはもちろん重要ですが、それを実感へと深めるのは、自分の目で見て、耳で聞き、そして肌で感じる経験です。本物に触れたときの驚きや感動は、子どもたちの心に深く刻まれ、生涯にわたって生きる力となっていきます。

6月には、4年生の「上郷宿泊体験学習」、5年生の「三浦宿泊体験学習」が予定されています。また、3年生は地域について学ぶ「まち探検」を進めています。学校としても、これからも本物に触れる機会を大切にしながら、子どもたち一人ひとりの可能性を最大限に引き出す教育を進めてまいります。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、今後とも温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。